

事業番号	15 05 09	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	情報通信技術（ICT）を活用した確かな学力育成事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト	8-4-1教育再生プロジェクト		課・局・室	教学指導課		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 1 未来を切り拓く学力の育成		E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	4-2 信州創生を担う人材の確保・育成 2-（3）知の集積と教育の充実		実施期間	H24 ~		
	施策展開	イ 未来の信州を担う子どもたちの教育の充実 ア 多様な教育の推進					

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した個別学習、協働学習により、分かる授業が実現されている。 子どもたちが必要な情報活用能力を身につけている。 	
現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> 全校種において、ICTや機器を活用した授業が広まっていない。（授業中にICTを活用できる教員：県66.5%全国42位、全国平均71.4% H27年3月文部科学省調査） 高校における電子黒板の普及率は特に低く、授業への情報活用が進まない。（電子黒板のある学校：県内高校27.6%全国37位、全国平均48.2%、同上） 	
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 児童生徒がICTを活用した個別学習、協働学習によって、分かる授業が実現されるためには、教員のICTを活用した指導力を向上させることが必要であり、そのためには県がパイロット校を指定し実践研究を積み重ねたり、県立高校の校内LANシステムを整備したりする必要がある。
	県民との協働による実施： 実施中	

成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）						
	<ul style="list-style-type: none"> 中学・高校において、授業中にICTを活用して指導する教員の割合を、H29年度に中学・高校ともに80%まで向上させるため、H28年度の目標を中学76.0%、高校75.0%とする。 H29年度までに、電子黒板が設置されているすべての県立高校でその機器を活用した授業を行えることを目指し、H28年度は実践方法と教材について研究や研修を行う。 						
	② 事業内容 （単位：千円）						
		項目	実施方法	H28事業実績		H28	H29
						（当初）	（決算）
							（当初）
		小中学校における教育の情報化推進事業（パイロット校での実践研究等）	直接	パイロット校による実践研究を実施し、シンポジウム等をとおして研究成果を広く発信	190	36	4,020
		小中学校における教育の情報化推進事業（教員のICTを活用した指導力向上研修）	直接	教員養成課程を有する大学と連携した研修プログラムの研究・開発・実践	3,803	3,341	347
		県立高校における情報端末機器を活用した教育の推進	直接	高校モデル校3校において電子黒板・タブレットPC等を活用した授業改善のための研究・検討を実施	11,527	11,514	9,406
		校内LAN・図書館DB推進事業	直接	H25～27に外部集中管理（データセンター）に移行した県立高校83校の校内LANシステムのPC、プロジェクター及び図書館蔵書システムの保守及びデータセンターの運用	171,564	167,035	168,399
	ICTを活用した遠隔教育推進事業	直接	ICTを活用した遠隔キャンパス間、小規模総合学科間における多様な学習支援のための調査研究	4,173	3,555	2,591	
	RESASを活用した地方創生のための探究型学習	直接	RESASを活用した探究的な学びを実践する高校で、その実践法、評価法、効果検証法について研究	0	5,649	8,084	
	学力向上のための教科学習におけるICT機器活用事業	直接		0	0	23,040	
	探究学習のためのICT機器整備事業	直接		0	0	31,103	
			合計	191,257	191,130	246,990	

事業コスト	区 分（単位：千円）				成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	179,108	191,257	246,990				目標	成果	達成状況	
		補正予算		9,976								
		合計(A)	179,108	201,233	246,990							
	Aの財源	一般財源	174,018	188,259	236,518	中学の授業でのICT活用	68.5%	68.0%	76.0%	集計中 (9月中)	集計中 (9月中)	80.0%
		県債				高校の授業でのICT活用	61.0%	60.5%	75.0%	集計中 (9月中)	集計中 (9月中)	80.0%
		国庫支出金	5,090	12,964	10,463							
		その他	0	10	9							
	決算額(B)	171,448	191,130									
概算人件費	職員数(人)	7.00	7.00	7.00								
	概算人件費(C)	57,932	55,398	55,398								
	概算事業費(B(A)+C)	229,380	246,528	302,388								

目標に対する成果の状況	成果目標に対する実績値は集計中である。
-------------	---------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	電子黒板を設置したり、教員のICT活用指導力向上のための研修に注力したりして、ICTの日常化を図り、探究的な学習が一層進むように授業改善を進める。